ICT建機による施工

ＩＣＴ建設機械

- 施工に用いるICT建機の測位方法や仕様、機器構成に加え、導入時期は施工計画段階で十分な検討が必要。

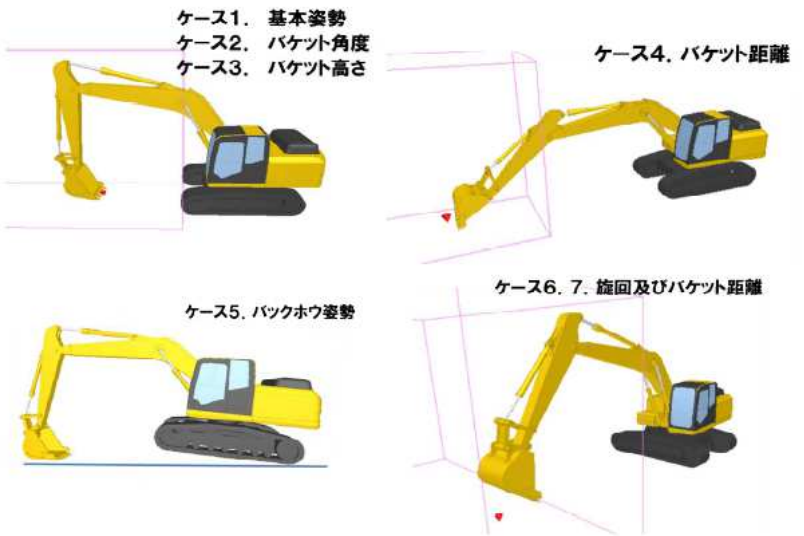
【出来形や出来高に施工履歴を利用する場合は以下が必須】

- ICT建機の精度確認は導入時に作業装置の位置精度の確認を行い記録する。
- 作業前にあらかじめ設置した既知点において座標確認を行い記録する。

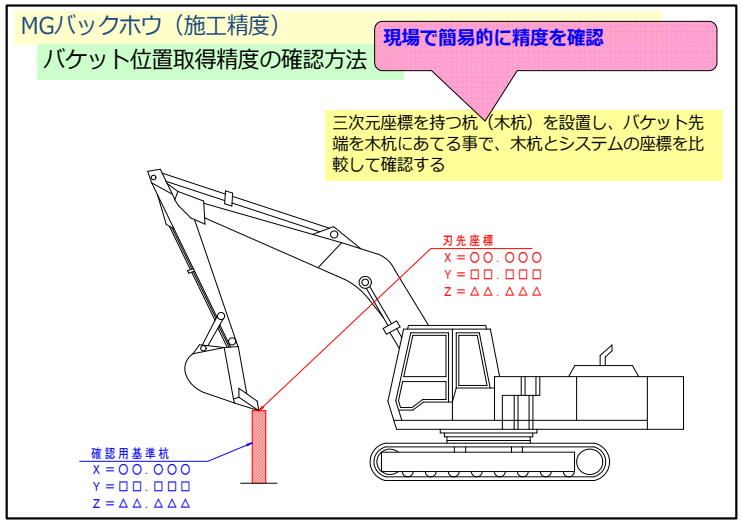
作業装置の位置精度の確認

	バケット標高位置	バケット角度	バケット距離	バックホウ姿勢	上部旋回体向き	備考
ケース 1	0m	0度	近距離	水平	正面	比較基本姿勢
ケース 2	0m	60度	近距離	水平	正面	バケット角度
ケース 3	1．5m	0度	近距離	水平	正面	バケット高さ
ケース 4	0m	0度	遠距離	水平	正面	バケット距離
ケース 5	0m	0度	近距離	7．5度	正面	バックホウ姿勢
ケース 6	0m	0度	近距離	水平	90度	旋回体向き
ケース 7	0m	0度	遠距離	水平	90度	

※パラメータの数値は、任意に設定してもよい。



日々の精度確認



例：日常点検のチェックシート（BH版）

ここに注意

- ✓ 精度確認は、出来形や出来高に施工履歴を利用する場合は必須。
- ✓ 通常施工で利用する場合は、実施の有無は施工者の判断によるが、日々の精度管理はミスや手戻り防止に有効である。